Purus

自動おしぼり機
F-1721TB
取扱説明書

もくじ

■このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。
　不適切な取扱いは事故につながります。

■この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

● 表示の説明

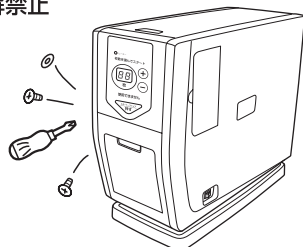
警告 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	注意 「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

● 図記号の説明

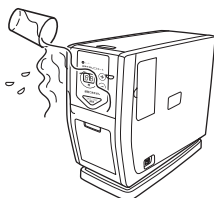
⊘ は、してはいけない「禁止」の内容です。	! は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

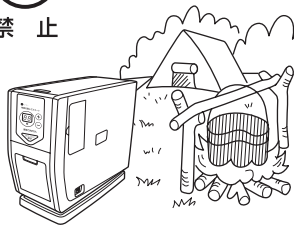
分解禁止

絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。修理は、お買い上げの販売店または、「プールス株式会社お客様ご相談センター」にご相談ください。

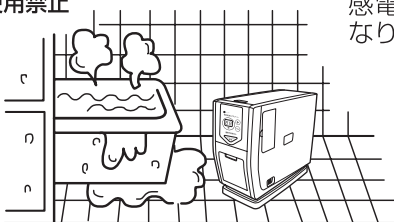
水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショート・感電の恐れがあります。

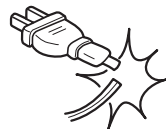
禁　止

屋外で使用しないでください。

ショート・感電の恐れがあります。

水場での使用禁止

浴室など、湿気の多いところで使用しないでください。

感電・故障の原因になります。

禁　止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

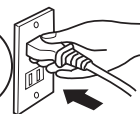
強　制

電源プラグのほこりなどは定期的にとってください。

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

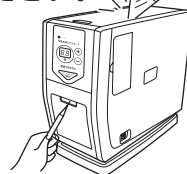
● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

強　制

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

禁　止

器具のすき間に異物を入れないでください。

感電・故障・けがの原因になります。

ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。

感電やけがをすることがあります。

警告

禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

禁止

取出口内部に手や物を入れないでください。

けがや故障の原因になります。

注意

強制

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けてください。

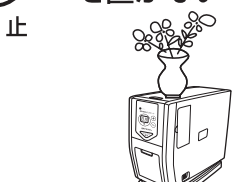
水漏れ・転倒・落下などによるけがの原因になる場合があります。

強制

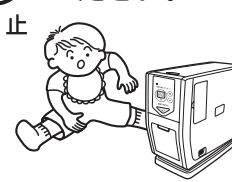
設置する台が濡れても良いところに据え付けてください。

給水時などに周囲の床を濡らす恐れがあります。

禁止

製品の上に重量物や水を入れた容器を置かないでください。

落下してけがをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電火災の恐れがあります。

禁止

子供が触ったりしないよう注意してください。

製品の転倒や内部コンベア部への指の巻き込みなどによるけがや、本体故障の原因になる場合があります。

禁止

交流 100V 以外では使用しないでください。

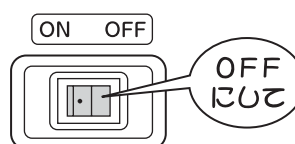
感電・火災の原因になります。

プラグを抜く

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

強制

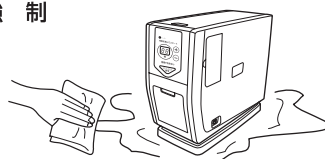
3日以上ご使用にならないときは、電源スイッチを「OFF」にし、本体・給水タンクの水を抜いてください。

水の腐敗から雑菌が繁殖し、悪臭や健康被害の原因になることがあります。

強制

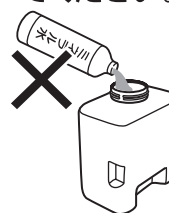
周囲温度が0℃以下の凍結の恐れがあるときは、必ず本体・給水タンクの水を抜いてください。

凍結による破損の原因になることがあります。

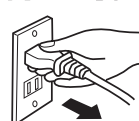
強制

万一、床に水が漏れた場合は、すぐにふき取ってください。

滑ってけがをする恐れがあります。

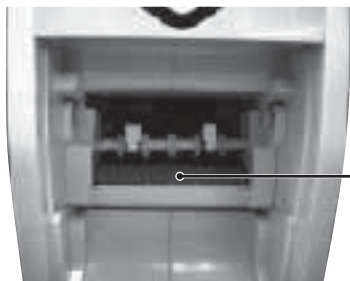
禁止

給水タンクに水道水およびプールス製専用除菌液以外のものを入れないでください。

ミネラル水やプールス製専用除菌液以外のものを入れると故障の原因になります。

強制

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電・ショート・発火の原因になります。

各部の名称とはたらき

フロントパネル部
ヒーターランプ
ヒーター作動中に点灯します。
• 加熱中…赤色に点灯します。
• 保温時…緑色に点灯します。
デジタル表示
• おしぼりの枚数を表示します。
• エラー時にエラー番号を表示します。（13ページ）
枚数設定＋ボタン
おしぼりの枚数設定を増やします。
枚数設定－ボタン
おしぼりの枚数設定を減らします。
•「＋」ボタンと「－」ボタンを同時に押すと、枚数設定がリセットされます。
使用中止ランプ
エラーで使用不可能となった場合に点灯します。
スタート・ストップボタン
• おしぼりの製造を開始します。
• 連続製造中に押すと、おしぼりの製造を中止します。
ヒーター
枚数を選んでスタート
88
枚
使用できません
スタート・ストップ
押す
紙送りカバー
給水タンク
コントロールスイッチカバー
上カバー
前面カバー
取出口
前面カバー内部
コンベアユニット
電源スイッチ
ON OFF
メンテナンスカバー
電源プラグ
排水バルブ
電源コード

コントロールスイッチ部

長さ
18 24 30 36 42 48
水量
0 1 2 3 4 5
モード　単独　連続
ヒーター　OFF　ON
ブザー　OFF　ON
ポンプ
ロール紙補給
除菌液(水)補給

長さ設定ツマミ
おしぼりの長さを設定します。

水量設定ツマミ
おしぼりの湿り具合を設定します。

動作モードスイッチ
おしぼりを単独で製造するか、連続で製造するかを切り替えます。

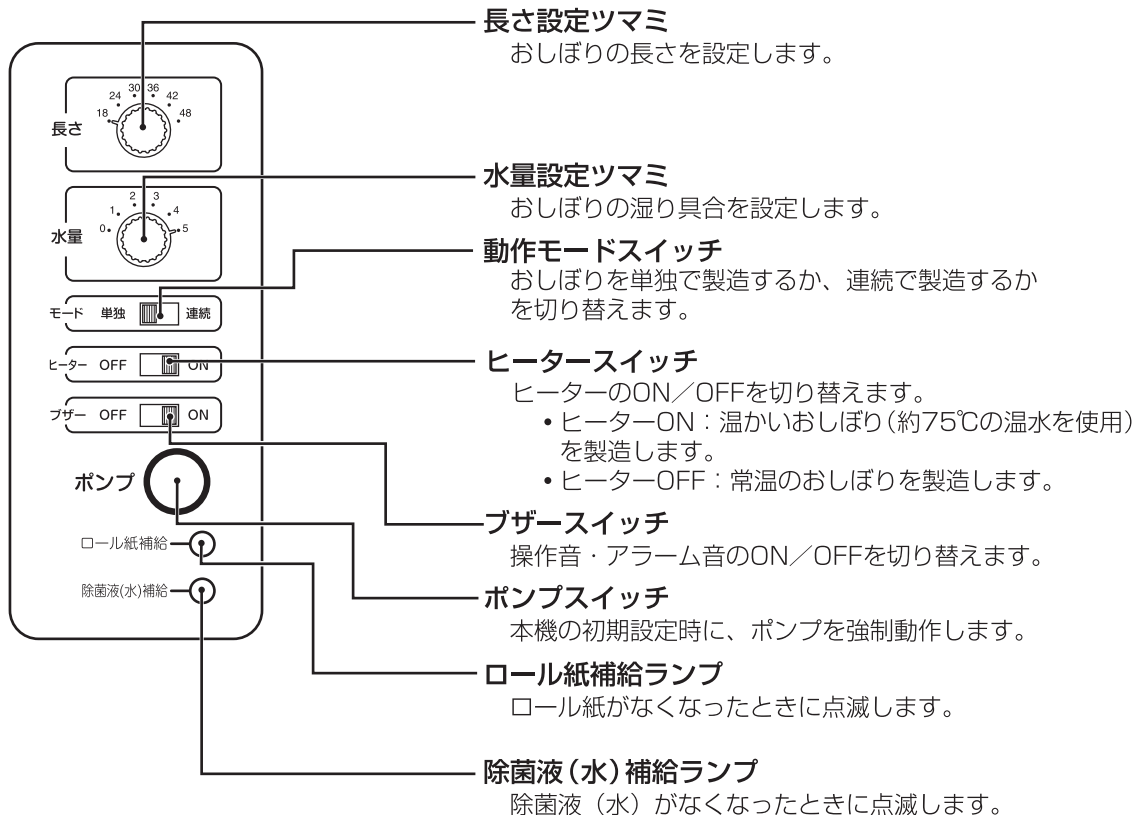
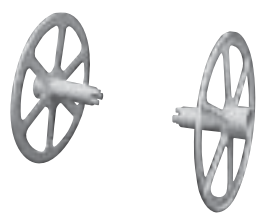
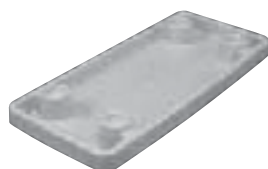
ヒータースイッチ
ヒーターのON／OFFを切り替えます。
- ヒーターON：温かいおしぼり（約75℃の温水を使用）を製造します。
- ヒーターOFF：常温のおしぼりを製造します。

ブザースイッチ
操作音・アラーム音のON／OFFを切り替えます。

ポンプスイッチ
本機の初期設定時に、ポンプを強制動作します。

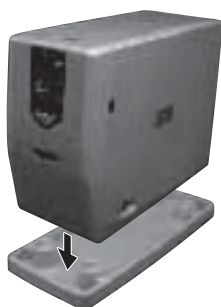
ロール紙補給ランプ
ロール紙がなくなったときに点滅します。

除菌液（水）補給ランプ
除菌液（水）がなくなったときに点滅します。

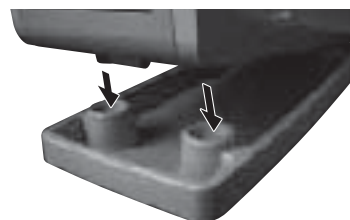
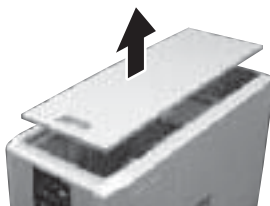
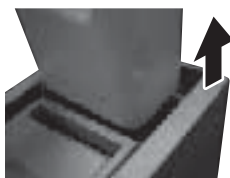
付　属　品

別　売　品

- プールス製　専用除菌液
- プールス製　専用ロール紙

ご使用前の準備

1. 設置します。

⚠注意

- 設置する台や床面が丈夫で平らなところに水平になるように据え付けてください。
- 必ず本体の下にトレーをセットしてご使用ください。
  おしぼり製造時の余剰水が本体底部から流出します。

本体のゴム足（4ケ所）がトレーの凹部にはまり込むようにセットします。

2. 上カバーを取りはずします。

3. 給水タンクを取り出します。

4. 給水タンクに水と専用除菌液を入れます。

（専用除菌液は製品に付属しておりませんので、別途お買い求めください。）

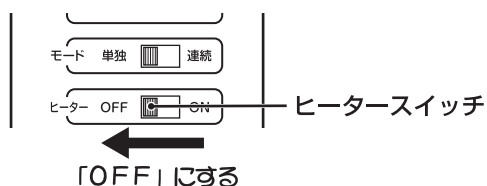
① 清潔な水道水を、給水タンクからあふれない程度に入れます。

② 専用除菌液を適量（除菌液に記載の指示に従ってください。）入れます。

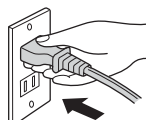
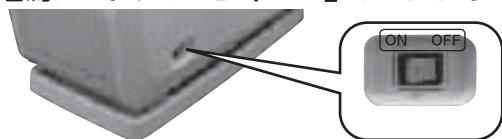
⚠注意

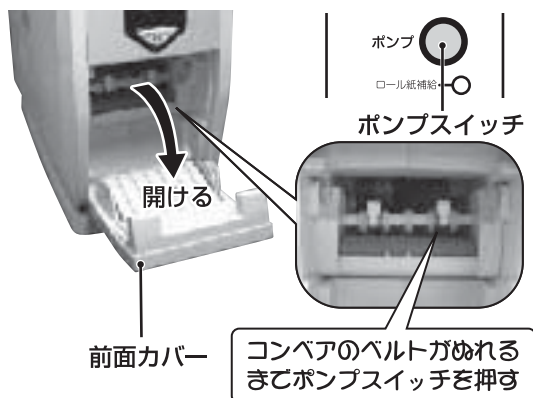
- 給水タンクのキャップは確実に閉めてください。
  給水タンクの水が溢れたりして、感電・故障の原因になります。
- 給水タンクには、水道水・プールス製専用除菌液以外のものを入れないでください。ミネラル水や専用除菌液以外のものを入れると、故障の原因になります。
- 必ず専用除菌液を入れてご使用ください。
  除菌液を入れないと、除菌効果が得られません。
- 必ずプールス製専用除菌液をご使用ください。
  他の除菌液を使用すると、故障の原因になります。

5. 給水タンクを本体に元通り取付けます。

6. コントロールスイッチ部のヒータースイッチが「OFF」になっていることを確認します。

⚠注意

- ヒータースイッチがONになっていると、本体内部の加熱用タンクの水量が不充分なまま加熱され、安全装置が作動する場合があります。必ず以下の手順で水を本体内部に循環させてからヒータースイッチをONにしてください。

7. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

8. 電源スイッチを「ON」にします。

この時点ではロール紙がセットされていないため、エラー表示が発生（フロントパネルのデジタル表示に「E1」が表示され、使用中止ランプが点灯）しますが、そのまま以下の手順に従って進めてください。

9. 前面カバーを開けて、コントロールスイッチ部のポンプスイッチを押し続けます。

水が本体内部に循環すると、コンベアのベルトが濡れてきますので、それまで押し続けてください。
（給水タンクをセットした直後など、場合によっては1分程度かかることがあります。）

- 万一、1分程度ポンプスイッチを押し続けてもコンベアのベルトが濡れない場合は、給水タンク収納部の給水フィルターを取りはずしてポンプスイッチを押してください。（水を循環させた後は、必ず給水フィルターを元通りに取付けてご使用ください。）

⚠注意
ポンプスイッチは、電源スイッチを「ON」にした後5分間だけはたらきます。それ以降は、ポンプスイッチを押してもポンプが作動しませんので、一度電源スイッチを「OFF」にしてから再度電源スイッチを「ON」にしてください。

10. 前面カバーを閉じます。

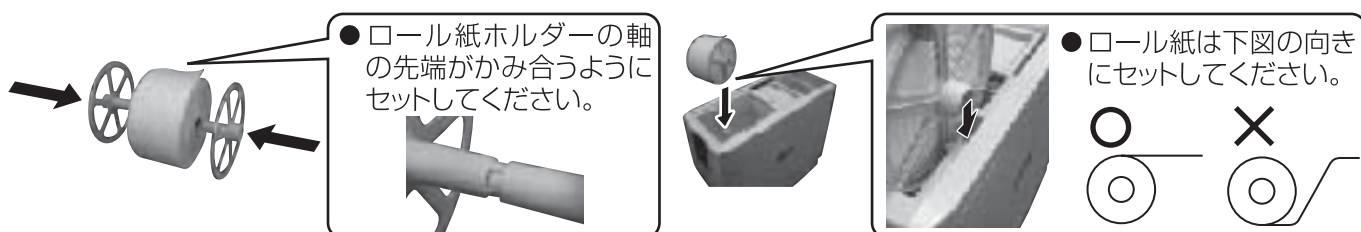
11. ロール紙をロール紙ホルダーに挟み込み、本体にセットします。

（ロール紙は製品に付属しておりませんので、別途お買い求めください。）

⚠注意
必ずプールス製専用ロール紙をご使用ください。
他のロール紙を使用すると、紙詰まりや故障の原因になります。

- ロール紙ホルダーの軸の先端がかみ合うようにセットしてください。

- ロール紙は下図の向きにセットしてください。

○ ×

12. 紙送りカバーを開き、ロール紙の先端をセットします。

① ロール紙先端を紙送りローラーの上にセットします。
紙送りローラーの上に充分にロール紙が乗っていないと、ロール紙は送り込まれません。
② 紙送りカバーを閉じます。ロール紙が自動的に送り込まれます。

13. 上カバーを元通り閉じます。

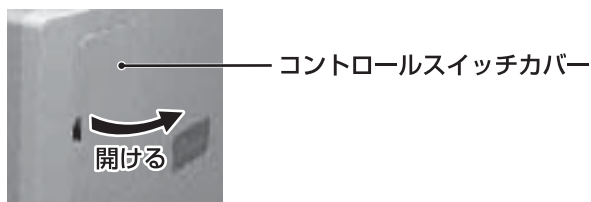
14. 取出口を開き、おしぼりを作ってみます。

フロントパネルの「スタート・ストップ」ボタンを押して、おしぼりを作ってみます。２～３本作ってみて、長さや水分量を確認してください。

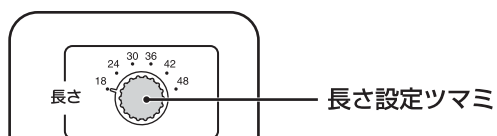
- 最初の1枚は、水分量が少ないものが出ることがあります。

15. 次項の「設定のしかた」に従い、おしぼりの長さや水分量などをお好みの状態に設定します。

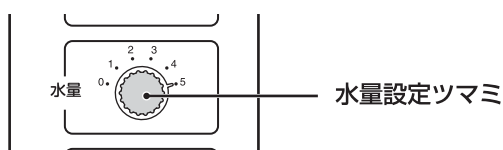
設定のしかた

本体右側面のコントロールスイッチカバーを開け、内部のコントロールスイッチを次の手順で設定してください。

おしぼり長さの設定

おしぼりの長さは18～48cmの6段階に設定できます。

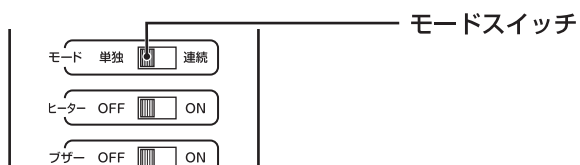
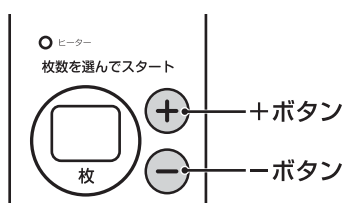
長さ設定ツマミを回して、おしぼりをお好みの長さに設定します。
（出荷時は長さ「48」に設定されています。）

おしぼり水分量の設定

おしぼりの湿り具合は、0～5の6段階に設定できます。

水量設定ツマミを回して、おしぼりが適切な湿り具合となるように水量を調整します。
（出荷時は水量「5」に設定されています。）

⚠注意
水量設定ツマミは、おしぼりが濡れすぎない程度に調整してください。
水量が多すぎると、本体底部のトレーに水が流出しやすくなります。

単独／連続の設定

おしぼりを1枚ずつ取り出すか、連続で取り出すかを設定できます。
「単独」：スタート・ストップボタンを押すごとに、1本ずつおしぼりが製造されます。
「連続」：おしぼりの連続枚数を設定し、最大50本までの連続製造を行うことができます。

1. モードスイッチを「単独」または「連続」にします。（出荷時は「単独」に設定されています。）

2. 連続に設定した時は、フロントパネルの「＋」「－」ボタンで枚数を設定します。

（モードスイッチを「単独」にした場合は「＋」「－」ボタンは機能しません。）

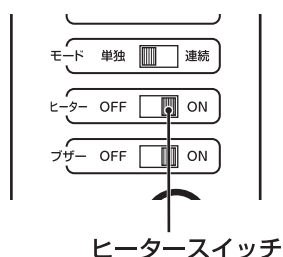
「＋」ボタン：1回押すごとに、おしぼりの枚数設定が1ずつ増加します。
長押しすると、おしぼりの枚数設定が連続的に増加します。

「－」ボタン：1回押すごとに、おしぼりの枚数設定が1ずつ減少します。
長押しすると、おしぼりの枚数設定が連続的に減少します。
デジタル表示が「01」の状態で長押しすると、枚数設定が最大値（「50」）に切り替わります。

- 「＋」ボタンと「－」ボタンを同時に押すと、枚数設定がリセットされ、デジタル表示が「01」に戻ります。

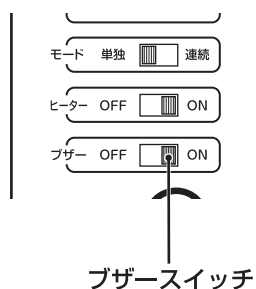
ヒーターのON/OFF

温かいおしぼり、または、常温のおしぼりを作るかを設定できます。
（ヒーター使用時は、約75℃の温水を使用したおしぼりが製造されます。）

温かいおしぼりを作る場合は、ヒータースイッチを「ON」にします。
10分程度で加熱が完了し、ヒーターランプが「赤」から「緑」に切り替わります。
常温のおしぼりを作る場合は、ヒータースイッチを「OFF」にします。
（出荷時は「OFF」に設定されています。）

⚠注意
- 初めてご使用になる際や、水抜きを行った後に再使用する際は、「ご使用前の準備」（5～6ページ）に従い、コンベアのベルトが濡れるまでポンプスイッチを押した後にヒータースイッチをONにしてください。
本体内部の水の循環が不充分な可能性があり、加熱用タンクの水量が不足したまま加熱されて、安全装置が作動する場合があります。
- 本体に給水していない場合は、ヒータースイッチをONにしないでください。安全装置が作動する場合があります。

ブザー音のON/OFF

ブザー音（各ボタンの操作音、エラー時のアラーム音）のON/OFFが設定できます。

ブザー音を鳴らす場合は、ブザースイッチを「ON」にします。
ブザー音を鳴らさない場合は、ブザースイッチを「OFF」にします。
（出荷時は「OFF」に設定されています。）

日常運転について

定格時間について

本機の定格時間は15分です。
15分の連続運転後は、10分以上の停止時間が必要です。

ヒータースイッチについて

初めてご使用になる際や、水抜きを行った後に再使用する際は、「ご使用前の準備」（5～6ページ）に従い、
コンベアのベルトが濡れるまでポンプスイッチを押した後に、ヒータースイッチを「ON」にしてください。
本体内部の水の循環が不充分な可能性があり、加熱用タンクの水量が不足したまま加熱されて、
安全装置が作動する場合があります。

連続製造時の使用方法

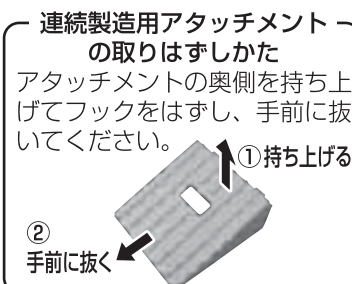
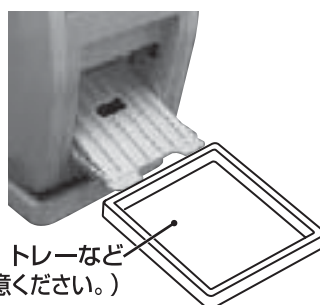
連続製造を行う場合は、取出口に付属の連続製造用アタッチメントを取付け、取出口の下にトレーなど
（別途ご用意ください。）を置いてご使用ください。
本体外部におしぼりを連続排出することができます。

アタッチメントの２本のフックを、取出口奥の穴に引っ掛けてセットする

連続製造用アタッチメント

トレーなど
（別途ご用意ください。）

連続製造用アタッチメントの取りはずしかた
アタッチメントの奥側を持ち上げてフックをはずし、手前に抜いてください。

①持ち上げる
②手前に抜く

⚠注意
長さ・水量によっては、おしぼりのロールがほどけたり、うまく排出されない場合があります。
「設定のしかた」（7ページ）に従い、長さ・水量を調整いただくか、連続製造用アタッチメントを取付けずに使用し、
取出口から5本程度ごとにおしぼりを取り出してください。

おしぼりが出てこないときの処置方法

エラー発生時（E7／E8／E9）の処置方法

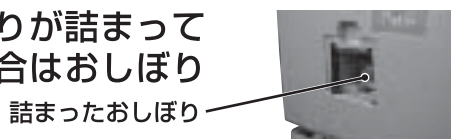
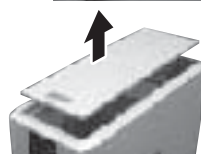
（この他のエラー発生時は、13ページをご覧ください。）

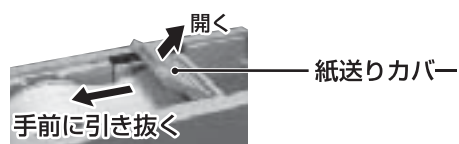
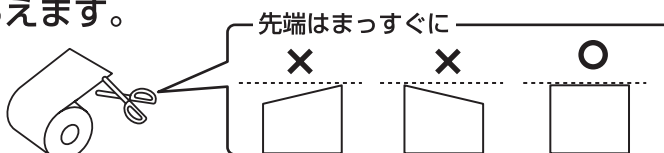
カッター部におしぼりが詰まっている可能性がありますので、以下の手順でおしぼりの詰まり確認・除去を行ってください。

1. 本体左側面のメンテナンスカバーを開きます。

開ける　メンテナンスカバー

2. メンテナンスカバー内部におしぼりが詰まっていないか確認し、詰まっている場合はおしぼりを取り出してください。

詰まったおしぼり

3. 上カバーを取りはずします。

4. 紙送りカバーを開いて、ロール紙を手前に引き抜きます。

5. ロール紙の先端をハサミで切りそろえます。

6. メンテナンスカバーを閉じます。

7. 再度ロール紙を紙送りカバー内にセットし、上カバーを閉じます。

エラー表示がついていないとき

コンベアユニット部におしぼりが詰まっている可能性がありますので、以下の手順でおしぼりの詰まり確認・除去を行ってください。

前面カバー

開ける

1. 前面カバーを手前に開きます。

2. コンベアユニット両側面の固定ネジ2本を取りはずします。

3. コンベアユニットのベルト部を持って、コンベアユニットを手前に引き出します。

4. 内部におしぼりが詰まっていないか確認し、詰まっている場合はおしぼりを取り出してください。コンベアユニットのベルトの間におしぼりが詰まっているときは、ベルトを指で回して、詰まったおしぼりを取り出してください。
5. コンベアユニット部におしぼりが詰まっていないときは、カッター部に詰まっている場合があります。前項「エラー発生時（E7／E8／E9）の処置方法」（9ページ）に従って処置を行ってください。
6. コンベアユニットをセットし、固定ネジを取付けます。

ロール紙切れのときのロールの処理

ロール紙がなくなりロール紙補給ランプが点滅した場合は、以下の手順でロール紙の交換を行ってください。

1. 上カバーを取りはずします。
2. 紙送りカバーを開き、カバー内にロール紙が残っていたら手前に引き出してください。
3. 新しいロール紙を紙送りカバー内にセットし、上カバーを閉じます。
（6ページをご覧ください。）

引き出す

水抜きについて

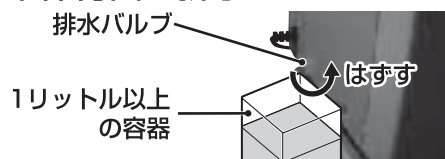
次のような場合は、運転を終えた後、以下の手順に従って給水タンクと本体内部の水を抜いてください。

- 運転終了後、次の運転時まで3日以上開く場合。（本体内部の水の腐食や悪臭や健康被害の原因になります。）
- 寒冷地でご使用の場合。（給水タンクや本体内部の水が凍る可能性があります。）

1. 電源スイッチを「OFF」にして、コンセントから電源プラグを抜き、1時間以上待ちます。

⚠注意

本体内部には、高温（約75℃）のお湯が入っています。
必ず1時間以上待ち、内部のお湯を冷ましてから以下の作業を行ってください。

2. 上カバーを開け、給水タンクを取りはずして、給水タンク内の水を排出します。
3. 本体背面の排水バルブキャップをはずします。

排水バルブからお湯が排出されますので、1リットル以上の容器に排出します。

4. 排水が停止したら、本体の正面側を上に上げて機体を後方に傾け、残留している水を排出します。

正面側を上にあげる

5. 再びご使用になる時は、「ご使用前の準備」（5～6ページ）の手順に従って、再セットしてください。

お手入れ

● お手入れは、必ず電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて1時間以上経過してから行ってください。（シャワーユニットなど、各部が高温になっている恐れがあります。）
● 本体の丸洗いは危険です。絶対にしないでください。

本体のお手入れ

● 乾いたやわらかい布でふいてください。
● 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤少量をやわらかい布に浸し、よくしぼってふき、そのあと乾いた布でふきとるときれいになります。
● シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。

本体内部および給水タンクのお手入れ

カビや異臭の発生を防止するため、定期的に本体内部の水を捨て、給水タンクの水を交換してください。
長期間ご使用にならない場合は、水を捨ててしっかりと乾燥させてください。
数日間使用せずに放置すると、本体内部の水の腐食・悪臭の原因になります。

本体内部の水の排水

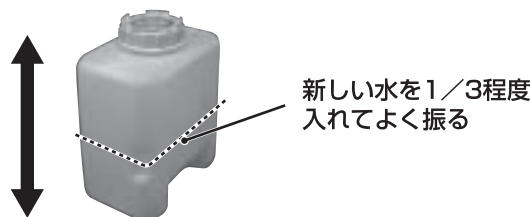
「水抜きについて」（10ページ）の手順に従い、本体内部の水を排出してください。

給水タンクのお手入れ

タンク内のすすぎ洗いをします。

1. 給水タンク内の水を捨て、空にします。

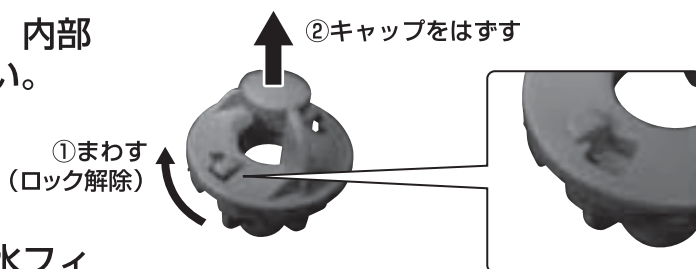
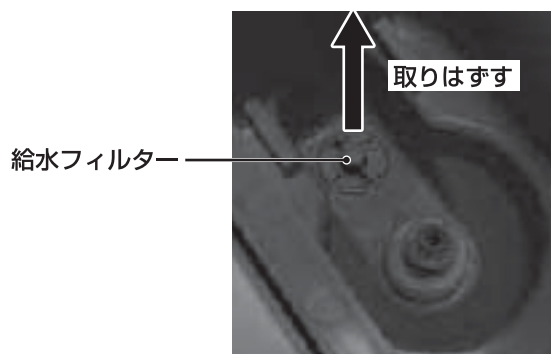
2. 給水タンクに新しい水を1／3程度入れ、キャップを閉めてよく振り、排水します。

新しい水を1／3程度
入れてよく振る

給水フィルターのお手入れ

1. 給水タンクを取りはずします。

2. 給水タンク収納部の底面にある給水フィルターを取りはずします。

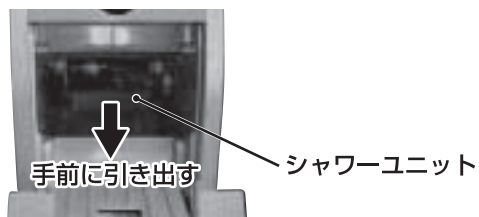
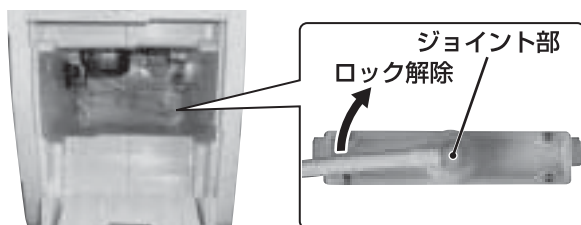
3. 給水フィルターのキャップを取りはずし、内部のメッシュをブラシ等で掃除してください。

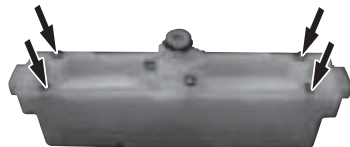
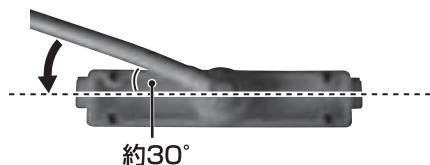
4. 給水フィルターのキャップを取付け、給水フィルターを取付けます。

⚠注意
給水フィルターをはずしたままで使用しないでください。故障の原因になります。

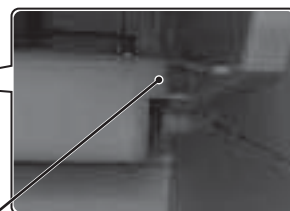
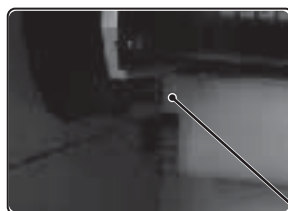
シャワーユニットのお手入れ

1. 前面カバーを開けて、コンベアユニットを取り出します。

コンベアユニットの取りはずしかたは、「おしぼりが出てこないときの処置方法－エラー表示がついていないとき」（10ページ）の1～3をご覧ください。

2. シャワーユニットを手前に引きます。

3. シャワーユニットに接続されているチューブを取りはずします。

①チューブのジョイント部を矢印の方向に回す。（ロックが解除されます）
②チューブのジョイント部からシャワーユニットを引き抜きます。

4. シャワーユニット上部のネジ4本を取りはずしてユニットを分解し、シャワー板の小穴のゴミをブラシ等で掃除してください。

5. 掃除後は、シャワーユニットを元通り組付け、本体にセットしてください。

①図の角度にチューブのジョイント部を差し込む。

②チューブのジョイント部を矢印の方向に回す。（ジョイントがロックされます。）

シャワーユニットの突起を、本体のミゾに差し込む

⚠注意

● シャワーユニットは、取付ける向きがあります。

こんなときは

こんなときは？	調べるところ		処置
エラー表示が発生した	エラー番号を確認し、その番号に応じて以下の処理を行ってください。		
		E0：ロール紙・除菌液（水）ともにない。	ロール紙・除菌液（水）を補給してください。
		E1：ロール紙がない。	ロール紙を補給してください。
		E2：除菌液（水）がない。	除菌液（水）を補給してください。
		E3：カバー類が開いている。	各カバー・パネル類（前面カバー／紙送りカバー／メンテナンスカバー）を確実に閉じてください。
		E4：ヒーター異常。	サービスマンにご連絡ください。
		E5：マイコン制御異常。	サービスマンにご連絡ください。
		E6：湯温検知センサー異常。	サービスマンにご連絡ください。
		E7：カッター動作異常。	「おしぼりが出てこないときの処置方法」（9〜10ページ）に従って、各部に紙が詰まっていないか確認してください。
		E8：ロール紙送り異常。	
		E9：カットしたおしぼりが詰まっている。	
作動しない	電源プラグにコンセントがしっかり差し込まれていますか？		電源プラグをコンセントに差し込み直してください。
	電源スイッチが「OFF」になっていませんか？		電源スイッチを「ON」にしてください。
おしぼりが出てこない	内部におしぼりが詰まっていませんか？		「おしぼりが出てこないときの処置方法」（9〜10ページ）に従って、各部に紙が詰まっていないか確認してください。
おしぼりが巻かれない	おしぼりは充分湿っていますか？		水量設定ツマミで水量を設定してください。 ●水量設定が「0」のときは、おしぼりの巻きが弱くなります。
	ロール紙の動きは正常ですか？		ロール紙を巻き戻し、シワになっている部分は切り取って再度セットしてください。
おしぼりが湿らない	水量設定が低すぎませんか？		水量設定ツマミで水量を再調整してください。
	給水フィルターが目詰まりしていませんか？		給水フィルターの清掃を行ってください。
	シャワーユニットが目詰まりしていませんか？		シャワーユニットの清掃を行ってください。
おしぼりの水分の量が多すぎる	水量設定が高すぎませんか？		水量設定ツマミで水量を再調整してください。
おしぼりが温かくならない	ヒータースイッチが「OFF」になっていませんか？		ヒータースイッチを「ON」にし、10分程度お待ちください。
コンベアの動作が停止した	定格時間を超えて運転していませんか？		10分以上、休止してから再運転させてください。 ●定格時間（15分）を超えて運転すると、コンベアモーターの安全装置が作動してコンベアの動作が停止することがあります。

愛情点検

★長年ご使用の自動おしぼり機の点検を！

ご使用の際 このようなことはありませんか。	●排水口以外から水もれする。 ●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。 ●電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ●本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。 ●運転中に、異常な音や振動がする。 ●その他の異常・故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店か「プールス株式会社　お客様ご相談センター」にご相談ください。

アフターサービス

1.保証書

- この取扱説明書と同じ袋の中に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。

3.修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「プールス株式会社　お客様ご相談センター」に修理をご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店か「プールス株式会社　お客様ご相談センター」までお申し出ください。

●保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
お買い上げの販売店か「プールス株式会社　お客様ご相談センター」にご相談ください。

4.アフターサービスについてご不明の場合

「プールス株式会社　お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共通化のため、一部予告なしに仕様や色を変更することがあります。

プールス株式会社　お客様ご相談センター
(フリーダイヤル) 0120−395−722
お電話承り時間:9:00〜17:30
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
（土・日・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。）

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕　様

電源	AC100V　50／60Hz
消費電力	470W（待機時5W）
定格時間	15分（連続運転15分後10分停止）
給水タンク容量（約）	2.2L
電源コードの長さ（約）	1.8m
使用温度範囲	5℃〜35℃
製品寸法（約）	幅:230×奥行:540×高さ:450mm
製品質量（約）	14kg
付属品	ロール紙ホルダー…2、給水タンク…1、トレー…1、連続製造用アタッチメント…1、保証書…1

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。 電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。